

# 「地域の底力」実践プロジェクトについて

地域の特色や資源(※)を活用し、地域が課題解決や活性化に向けて主体的に取り組む活動を市が共に考え、実践に必要な資金の支援をすることで、地域力の向上および地域の活性化を図る事業です。

(※)人材、歴史、文化、伝統、自然、教育機関との連携 等

## ▼取組案の応募

随時相談受付！

- ① 地域の課題や活性化をテーマに  
連合町内会等が中心となって、  
関係団体の皆さんと話し合いを  
行います。
- ② 取組案を作成し、市役所あてに  
応募します。



応募を受け、市では採点評価を実施し、採択の可否を決定した後、その結果を連合町内会長宛てに通知いたします。

1  
年  
目

## ▼結集会議の開催

市長も参加！

地域の皆様、関係団体などが一堂に会し、プロジェクトの目的や方向性などを共有し、地域を挙げて取組を実践するための合意形成を図ります。

## ▼プロジェクト会議で取組内容を検討

- ① 連合町内会等を中心に、地域関係団体や連携団体、地域担当職員などをメンバーとする「プロジェクトチーム」を結成します。
- ② プロジェクトチームが会議開催を主導し、具体的な取組内容を話し合うほか、スケジュールや役割分担などを順次決めます。

## ▼プロジェクトの実践

補助金交付(上限50万円、必要経費の80%)

結集会議やプロジェクト会議で検討し、決定した取組を実践します。

## ▼ふりかえり

継続実施に向けて振り返りを行い、事例紹介に向けた準備を行います。

2  
年  
目

# 上長

「健康と運動をテーマに地域をつなげよう！

ラジオ体操イベント！」HACHINOHE FESTIVAL

【実施主体】

◆上長地区町内連合会



八戸駅西口シンボルロードを歩行者天国にして、ラジオ体操やボッチャ、ヨガ、盆踊り、高校生によるエクササイズなど健康と運動をテーマにしたステージ発表のほか、地域の学校は日ごろの取り組みを発表。八戸駅西口シンボルロードを中心とした八戸駅かいわいの賑わい創出の一助となった。

# 下長

「未来につなげよう！下長の歴史再発見」

【実施主体】

◆下長地区連合町内会



地域の沿革や、地名の由来、神社、祠、石碑などに加え、近年の産業の発展をまとめた歴史ガイドブックやマップを作成・活用し、住民が地域の歴史に触れ、ふるさと意識と地域への愛着の醸成を図ります。

# 根城

「根城・鮭活」で目覚める地域の力

【実施主体】

◆根城地区連合町内会



根城の「イイネ！」発見ウォーキングコースの作成、根城の「イイネ！」フォトコンテスト、一坪山車を作成。根城で育つ子ども達も、ふるさとの魅力を感じ、この根城を愛し、八戸を離れても根城を忘れない、ふるさとに想いを寄せる活動です。

## 鮫地区：「鮫町の魅力再発見・ステップアップ作戦」 ～より心豊かに、賑わいと潤いを求めて～



### 取り組みたいこと

#### ◇「鮫町の魅力」再発見

地域の「自然資産」、「文化・芸能・歴史」、「地域の隠れポイント」、「各イベント」等について、青少年、壮年、老年による各チームで、世代間交流を図りつつ、調査・意見交換による地域の魅力を再発見し、オリジナルマップやユニークなリーフレット等により、魅力ある地域情報の発信に向けて取り組んでいきたい。

### 目指す姿

鮫地区は自然環境に恵まれており、「蕪島・ウミネコ繁殖地」から「種差海岸」まで遊歩道で繋がる「自然公園」が近場であり、「三陸復興国立公園」指定10周年を契機に、北の玄関口鮫町として、これまでの「魅力あるイベント」、「地域文化の伝承」、「地域の隠れポイント等」の魅力たっぷりの地域情報を積極的に発信することにより、生まれ育った「ふるさと」の良い思い出として語れる地域づくりを目指したい。

## 長者地区：ちょうじゃの女性活躍「女性会」スタートアップ大作戦

### 取り組みたいこと

- ★女性を中心とした組織の立ち上げ  
長者地区で活動している女性を中心に検討を重ね、仮称「女性会」を立ち上げ、活動を実施していく。
- ★イベントの実施  
組織化後、実施するイベントの検討を進める。
- ★地域づくり活動の実施



### 目指す姿

- ★長者地区連合町内会の構成単位町内会の中には、既に女性を中心とした組織での活動をしている町内がある。
- ★令和5年3月に開催した男女共同参画出前講座をきっかけに、長者地区連合町内会として女性を中心とした組織づくりの準備を進めている。
- ★(仮)女性会の組織化後に各種イベントの実施や、地域づくり活動を行いたいと考えている。
- ★町内会活動等に女性が参加できる環境づくりを進め、男女共同参画社会の推進と地域活性化を図っていきたい。

## 白銀地区：しろがねニューススポーツカップ2024

### 取り組みたいこと

- ★ニューススポーツの浸透
  - ・ニューススポーツの種類は非常に多いため、年齢や性別、国籍にとらわれず、地域住民や外国人がみんなで楽しめる競技種目を選定していく。
  - ・小中学校の活動、学年行事、こども会、地域で行うレクリエーション等にニューススポーツの器具を貸し出し、多くの人々がニューススポーツに触れる機会を増やし、地域全体に浸透させていく。
- ★ニューススポーツ大会の開催
  - ・地区町民大運動会にかわり、地域の各種団体及び多世代の交流と、多文化共生の推進を図るため、ニューススポーツの大会を開催する。
  - ・年齢や性別、国籍を問わず参加できる環境とし、多世代・多文化混合チームの編成や、小学生対町内会など、世代を超えて競技を楽しむ。



### 目指す姿

- ★ニューススポーツは老若男女問わず手軽に実施できるため、地域の各種イベントで活用できる。
- ★ニューススポーツをきっかけに、多くの地域住民や外国人が交流することで、地域活動における新たな人財の発掘、地域の各種団体及び多世代の交流と、多文化共生の推進を図り、地域活性化につなげたい。